

経営比較分析表（令和6年度決算）

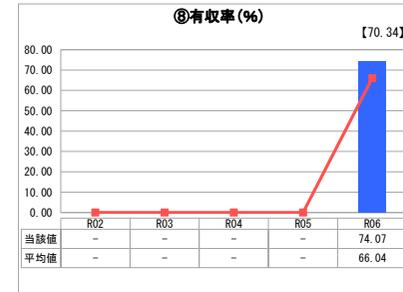
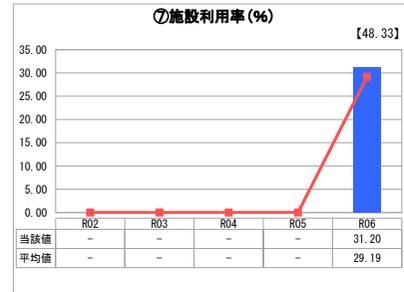
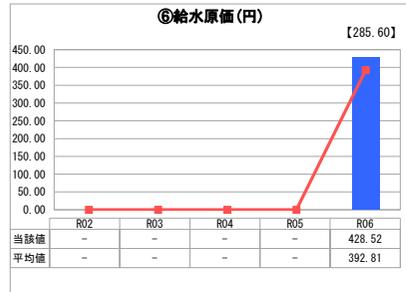
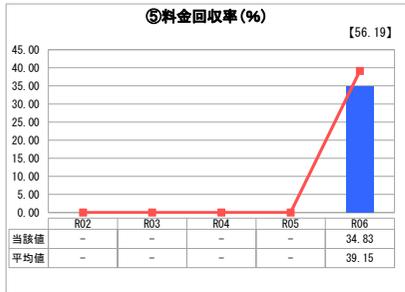
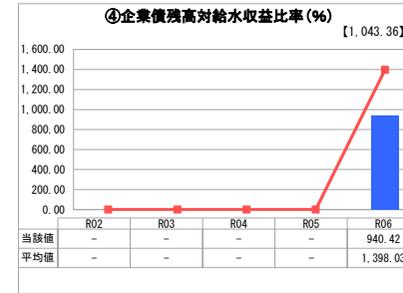
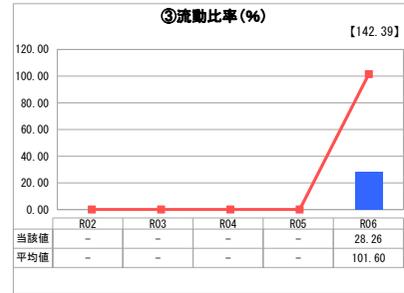
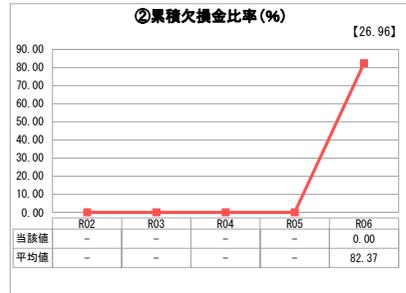
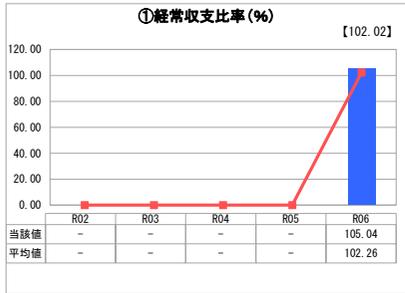
青森県 新郷村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	簡易水道事業	C4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)	
-	84.90	66.78	3,080	

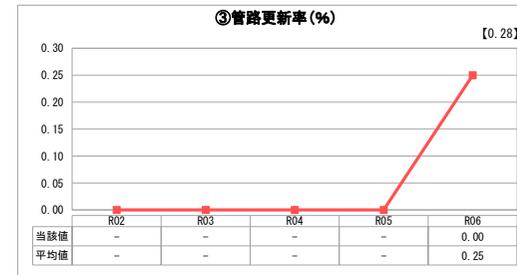
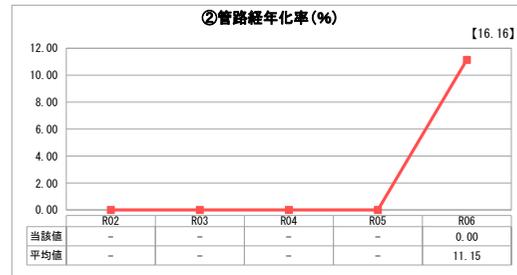
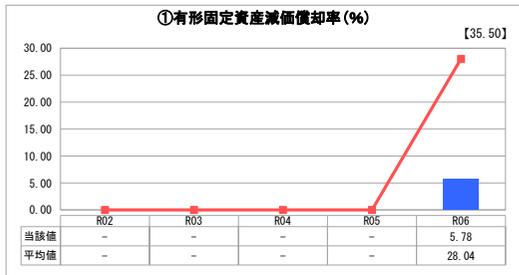
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
2,059	150.77	13.66
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
1,345	7.64	176.05

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析概

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率が100%を超えており、累積欠損比率も0%であることから、経営健全性は高いように見えるが、流動資産が少ないために流動比率が類似団体と比較して非常に低いため、支払い能力の向上を図る必要がある。料金回収率や給水原価の指標を踏まえると、経営の効率性において改善の余地があると考えられるため、投資の効率化や維持管理費等の削減、施設規模の効率化などにより、給水収益率の向上と給水原価の削減を図ることで、運営効率性を改善していく必要がある。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率、管路経年化率から老朽化度合いが低いことから施設更新等が行われず、③管路更新率が0%となっている。今後も施設の老朽化度合いを正確に把握し、適正な管理計画のもと運営していく。

全体総括

水道事業は、人口減少による料金収入の減少、施設老朽化に伴う更新費用の増大、人材確保の困難、そして物価高騰による維持管理費の増加と複数の課題に直面している。水需要は減少する一方で、施設規模はすぐには縮小できず、収入減と固定費負担が経営を圧迫している。加えて、老朽施設の更新には多額の投資が必要である。さらには、技術職員の不足や技術継承も課題となっており、運営体制の維持にも影響が出ている。今後は、計画的な施設更新、経営の効率化、人材確保対策を進め、持続可能な水道事業の運営を確保していく必要がある。